

令和7年度 第3回 保倉区地域協議会

次 第

日時：令和7年7月24日（木）午後6時～

会場：保倉地区公民館 研修室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【自主的な審議】

- ・子育て世代、健康福祉関係者との懇談会 まとめ
- ・令和8年度地域独自の予算事業の提案検討

4 そ の 他

- ・次回地域協議会

令和7年 月 日（ ）午後6時～ 保倉地区公民館

5 閉 会

地域の声（子育て世代、健康福祉関係者との懇談会）まとめ と 今後の進め方（予定）

■地域の声（子育て世代、健康福祉関係者との懇談会）まとめ

- ・別紙資料No.2 のとおり
- 集う難しさ、率直な気持ち
- 集うを求める声、つながる意味
- 暮らしの中での心配事
 - ◆ 子どもを真ん中に集う
 - ◆ 地域の次の世代を育てる（保倉区の維持）
 - ◆ 暮らしに直結する地域活動（町内会活動の維持）
 - ◆ 令和の地域情報のあり方
- ・4つの視点に整理し、視察や意見交換を行いながら深めていく

顔の見える関係で、
安心して心地よく保倉で暮らしたい！

■今後の進め方（予定）

時期	主な予定
7月	【地域協議会】 ・意見交換の振り返り
8月	・8/3 保倉地区ラジオ体操集会 運営・視察（有志）
9月	【地域協議会・勉強会】 ・参考事例を学ぶ（◆次の世代を育てる、◆子どもを真ん中に集う） ・北諏訪まちづくり振興会「まつりっち」ほかの運営について
10月	・10/4 北諏訪区「まつりっち」視察（有志） ・10/11「歩こう会」実施（実施主体：保倉まちづくり振興会） 【地域協議会】 ・「歩こう会」反省会
11月	【地域協議会】 ・「歩こう会」参加者の意見集約、次年度への課題整理 ・小学校との連携状況について（◆子どもを真ん中に集う） ・さいの神運営の情報交換（◆町内会の維持）
12月	【地域協議会・地域との意見交換】 ・第2回子育て世代との懇談会
1月	【地域協議会】 ・令和7年度の振り返りと、次年度の進め方
2・3月	・次年度の準備（事務局）

地域の声(子育て世代・健康福祉関係者との懇談会)まとめ

第3回保倉区地域協議会(R7.7.24)
資料No.2

○R6.12.11子育て世代との意見交換で出た意見(子)

○R7.5.29健康福祉関係者との意見交換で出た意見(健福)

- ・地域の人たちが集まり、一体感を感じられる機会が少なくなっている(健福)
- ・人とのつながりが薄れている(健福)

- ・今の子ども達は地域行事に行かないのが当たり前(子)
- ・地域の事をあまり知らない。関心が低い(子)

- ・今の時代の土日の過ごし方はそれぞれ(健福)

- ・30-40代の人々の意向が分からない(健福)

- ・これまでのバレーボール等は人数集めが負担で辞めてしまった(健福)

○集う(つどい)難しさ 率直な気持ち

- ・コロナで各取組が中止となり、1回途絶えて再度やるとなるとハードルが高い(健福)

- ・郷土芸能の後継者がいない(健福)

- ・関係者を中心に人集めを行い、できる範囲でまずは楽しく行う(健福)

○暮らしの中での心配事

- ・安全に関して、防犯対策、災害対策、交通安全、インフラ整備が課題(子)(健福)

顔の見える関係で、 安心して心地よく保倉で暮らしたい！

- ・子育て世代には(特に嫁いできた女性には)学校の行事が、数少ない地域との接点(子)

- ・集まることが情報交換になる(健福)

- ・関わらないとどんな人が住んでいるのかも分からない(健福)

- ・隣近所や町内会で遠慮せずに助け合える関係を築きたい(健福)

○集う(つどい)を求める声 つながる意味

- ・1つのことを皆でやる体験、多くの人が参加するイベントを継続し、定着させ、次の世代に引き継ぐ(健福)
- ・地域行事に大人が携わる姿を子に見せる。楽しさを経験させる(健福)

◆暮らしに直結する地域活動 (町内会活動の維持)

- ・町内会や子ども会には参加したい(子)

- ・保倉全体で考えるより、町内会活動が身近に関心が高い(健福)

- ・高齢者・一人暮らしの見守り(健福)

- ・高齢独居でゴミ出しにサポートが必要な人がいる(健福)

- ・車がないと生活できない(子)
- ・子どもが一人で自転車ですでかけることも難しい(子)

- ・学校行事なら参加しやすい(子)

- ・子育て世代は学校行事に夫婦で参加する。若い人は協力しないのではなく、子どもの為なら動く(健福)

- ・子どもを集めないと大人は来ない(子)
- ・子どもの意見も聞いてほしい(子)
- ・子どもが喜ぶことをやってみる(健福)
- ・外孫が参加しても楽しい企画(健福)

◆子ども(保倉小学校)を真ん中に集う 親も子も地域に関わる入口

関係づくり・交流
共通の思いで・体験

◆地域の次の世代を育てる (保倉地区の維持)

- ・次の世代にやってほしいとバトンを渡す。少しずつ関わってもらい、場数を踏む(健福)

◆令和の地域情報のあり方

- ・子どもや孫がいないから関係ないとならないように(健福)
- ・参加できなくても、みんなが知っていることが大事(健福)

- ・地域で今、何をしようとしているのかを見えるようにする(健福)
- ・インターネットを活用した意見募集や情報発信を検討してほしい(子)
- ・小学校のスポフェスで地域種目があったことは知らなかった(健福)